

関西電力からの報告の概要  
(5日15時00分までに受けたもの)

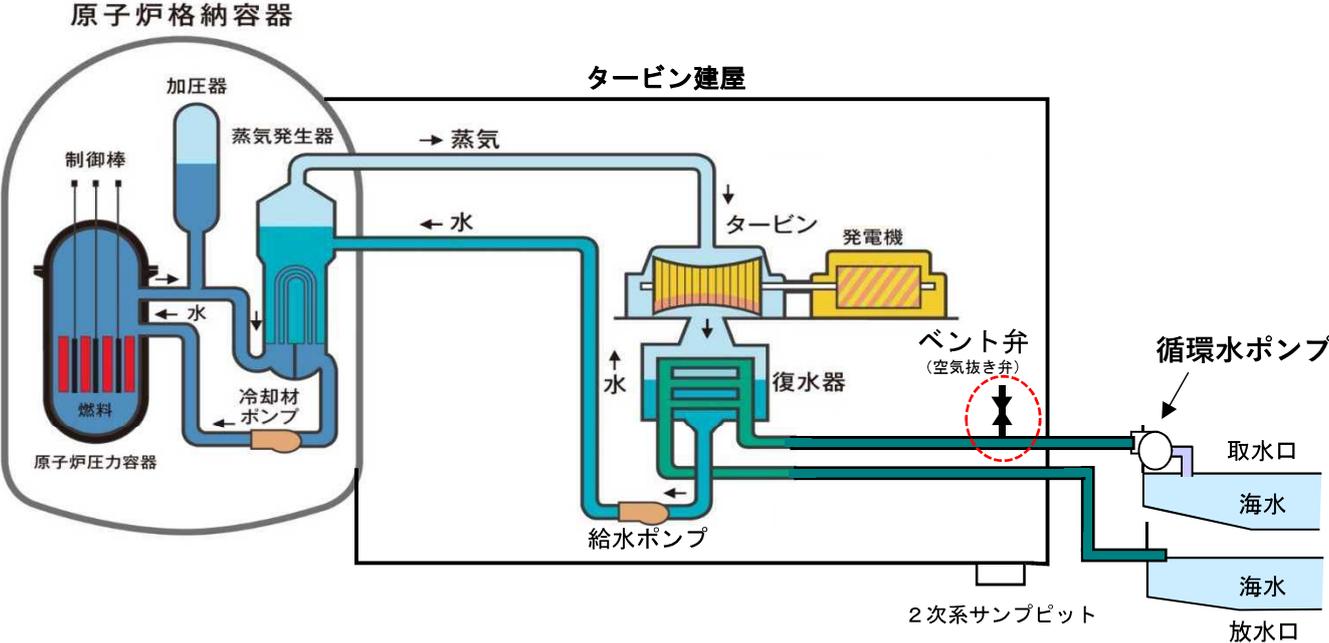
○8月4日、関西電力株式会社大飯発電所3号機において、定格熱出力一定運転のところ、同日05時06分「2次系サンプピット注意」警報が発信した。直ちに、現地を確認したところ、A-循環水管ベント弁の付根付近から海水漏れを発見した。

○このため、同日05時37分よりA-循環水ポンプの停止操作を開始し、同日07時40分にA-循環水ポンプを停止した。また、残りのB-循環水ポンプでプラント運転を継続するため、発電機の出力行下を07時41分より開始し、同日10時30分に発電機出力767MW(約65%)まで降下させた。

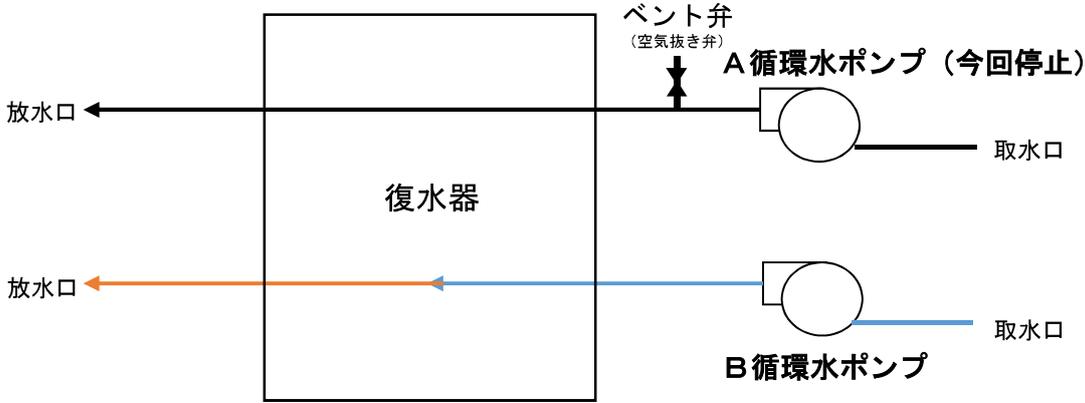
○本日5日13時30分、本事象は、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第62条の3の規定に基づき制定された、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第134条第2号に該当すると判断した。

○本事象による周辺環境への影響はありません。

# A循環水管ベント弁付近からの海水漏れ



復水器系統概略図



(関西電力株式会社HP掲載)